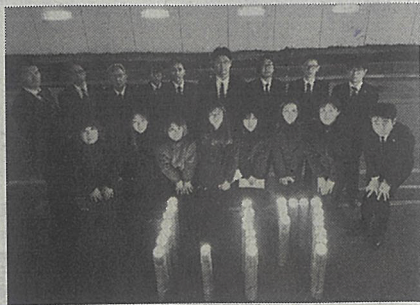


吉岡興業 震災を風化させない

阪神淡路大震災の追悼式を実施



機械工具商社の吉岡興業（神戸市兵庫区、078・579・1177）は1月16日、阪神淡路大震災から30年を迎え、震災で亡くなられた方々を追悼する「追悼式」を行った。30年の長い月日が経つ中、震災の記憶を風化させず次世代に伝えることで、

「忘れないこと」の大切さを全従業員と共有する時間とした。

1995年1月17日の午前5時46分にマグニチュード7.3の地震が起こり、近畿圏の広域で大きな被害を与えた。特に神戸市は震源に近く、多くの機械工具商社が被災した。同社も完成したばかりの新社屋が被災。内部に亀裂が入るなど被害が出たものの、比較的軽微で社員も無事だったが、市内の配達は渋滞によりバイク中心の配達だったようだ。追悼式ではこうした記憶を次世代に伝え、竹灯籠を灯し亡くなられた方々を追悼した。